

# JA海外債券ファンド

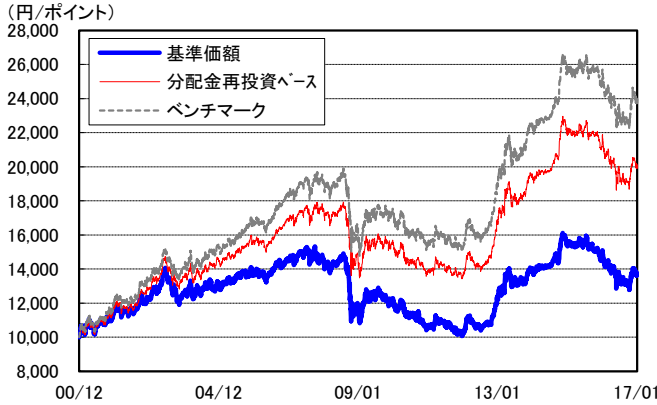
設定日:2000年12月22日 償還日:無期限 決算日:10月16日(休業日の場合は翌営業日)

追加型投信/海外/債券

## ●商品の特徴

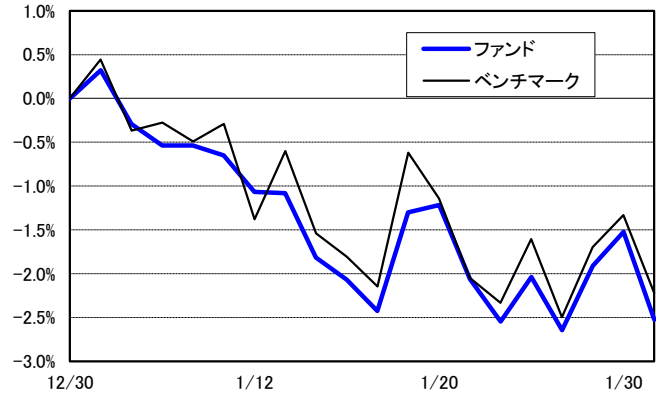
- 当ファンドは、JA海外債券マザーファンドを主要投資対象とし、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の公社債を中心に投資を行います。
- マザーファンドの運用にあたっては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに外貨建資産の運用および為替取引の指図に関する権限を委託します。
- 当社が円ベースに換算したシティ世界国債インデックス(除く日本)をベンチマークとし、ファンダメンタルズ分析と計量分析を併用した手法により運用を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ポートフォリオ全体の平均格付(保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したものは、原則としてA格以上を維持することとします。外貨建資産については、原則として対円為替ヘッジは行いません。

## ●基準価額の設定来推移



※1 分配金再投資ベースは分配金(課税前)を再投資したもとして計算しており、分配金があった場合は実際の基準価額とは異なります。  
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに値は異なります。  
※2 ベンチマークの設定来推移は、設定日を10,000として指数化したものです。  
※3 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## ●当月のパフォーマンス推移



## ●設定来の運用実績

	ファンド騰落率 (分配金再投資) (1) (%)	ベンチマーク 騰落率 (2) (%)	差異 (1)-(2) (%)
過去1ヵ月	-2.52	-2.22	-0.30
過去3ヵ月	4.28	4.88	-0.59
過去6ヵ月	1.39	2.15	-0.76
過去1年	-8.71	-7.53	-1.19
過去3年	3.17	6.74	-3.57
設定日	99.26	137.32	-38.06

※1 ファンド騰落率(分配金再投資)は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金(課税前)を再投資した場合の騰落率です。  
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに騰落率は異なります。  
※2 ファンド騰落率は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## ●基準価額と純資産総額

年月日	基準価額 (円)	シティ 世界国債インデックス (除く日本、当社円 換算ベース) (ポイント)	純資産総額 (百万円)	マザーファンド 純資産総額 (百万円)
2017/01/31	13,632	108,860.69	283	18,299
2000/12/22 (設定日)	10,000	45,870.69	1	11,048

※1 基準価額は信託報酬等控除後で算出されます。  
※2 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。

## ●直近6期の分配実績

決算年月日	分配金 (課税前) (円)
2016/10/17	110
2015/10/16	270
2014/10/16	310
2013/10/16	300
2012/10/16	240
2011/10/17	220
設定来合計	4,879

※ 1万口当たりの実績です。

## ●信託財産の構成

ファンド	比率(%)
マザーファンド 受益証券	101.0
短期資産等	-1.0
合計	100.0
うち実質外貨建比率	100.6

※1 比率は純資産総額対比です。  
※2 短期資産等には、コール、CD、CP、  
現先、未収金、未払金等が含まれます。

マザーファンド	比率(%)
外国債券	95.9
短期資産等	4.1
合計	100.0

※1 比率は純資産総額対比です。  
※2 短期資産等には、コール、CD、CP、  
現先、未収金、未払金等が含まれます。

# JA海外債券ファンド

追加型投信/海外/債券

## <マザーファンドの運用状況>

### ●国別組入比率とデュレーション

国名	① 組入比率 (%)		② 修正デュレーション(年)		加重デュレーション(①×②)		
	ファンド	ベンチマーク	ファンド	ベンチマーク	ファンド	ベンチマーク	差
米国	38.1	44.3	6.25	5.91	2.38	2.62	-0.24
カナダ	4.1	2.2	5.02	6.59	0.21	0.14	0.06
イギリス	5.5	7.2	12.54	11.76	0.69	0.85	-0.16
ユーロ	36.7	39.8	7.12	7.24	2.62	2.89	-0.27
ドイツ	5.1	7.3	7.06	7.32	0.36	0.53	-0.17
フランス	9.7	9.9	7.47	7.53	0.73	0.74	-0.02
アイルランド	1.0	0.8	4.50	6.32	0.04	0.05	-0.01
イタリア	8.8	9.5	6.63	6.65	0.58	0.63	-0.05
オーストリア	1.5	1.5	7.98	8.04	0.12	0.12	-0.00
オランダ	2.3	2.3	7.24	7.89	0.17	0.18	-0.01
スペイン	5.1	5.6	7.26	6.72	0.37	0.37	-0.01
フィンランド	0.9	0.6	4.58	6.88	0.04	0.04	-0.00
ベルギー	2.4	2.5	8.68	8.64	0.21	0.22	-0.01
その他	-	-	-	-	-	-	-
スイス	0.2	0.2	5.09	5.27	0.01	0.01	-0.00
スウェーデン	0.5	0.5	5.32	6.27	0.03	0.03	-0.00
ポーランド	0.5	0.6	4.03	4.23	0.02	0.03	-0.01
デンマーク	0.7	0.6	8.55	8.81	0.06	0.05	0.00
ノルウェー	0.5	0.3	2.35	4.97	0.01	0.01	-0.00
オーストラリア	2.8	2.1	4.59	6.31	0.13	0.13	-0.00
シンガポール	1.7	0.4	2.85	6.28	0.05	0.02	0.02
マレーシア	-	0.4	-	5.67	-	0.03	-
メキシコ	0.8	0.8	4.96	5.31	0.04	0.04	-0.00
南アフリカ	0.5	0.5	7.12	7.29	0.04	0.04	-0.00
ニュージーランド	3.1	-	3.78	5.01	0.12	-	0.12
債券合計	95.9	100.0	6.66	6.89	-	-	-
その他	4.1	-	-	-	-	-	-
合計	100.0	100.0	-	-	6.28	6.89	-0.62

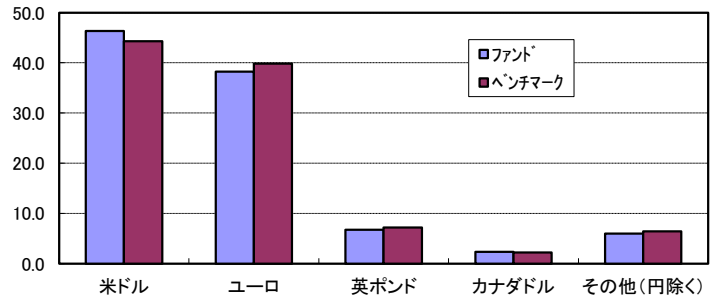
※1 比率は純資産総額対比です。

※2 加重デュレーションは、国別に修正デュレーション×組入比率で算出したものであり、金利エクスポージャーの大きさを表す数値です。

### ●通貨別組入比率

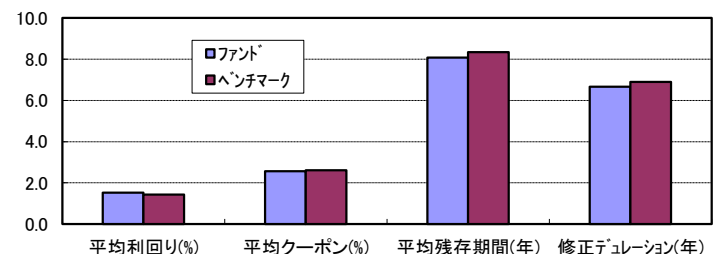
通貨	ファンド (%)	ベンチマーク (%)	差 (%)
米ドル	46.3	44.3	2.0
ユーロ	38.2	39.8	-1.6
英ポンド	6.7	7.2	-0.5
カナダドル	2.4	2.2	0.2
その他(円除く)	5.9	6.4	-0.5
合計	99.6	100.0	-0.4

※ 比率は純資産総額対比です。



### ●保有債券の属性

	ファンド	ベンチマーク	差
平均利回り(%)	1.52	1.43	0.09
平均クーポン(%)	2.57	2.62	-0.05
平均残存期間(年)	8.08	8.35	-0.26
修正デュレーション(年)	6.66	6.89	-0.24



# JA海外債券ファンド

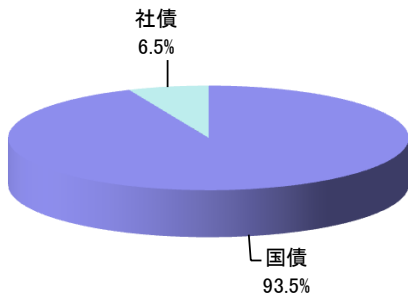
追加型投信／海外／債券

## <マザーファンドの運用状況>

### ●セクター別組入比率

セクター	ファンド(%)
国債	93.5
地方債	-
特殊債	-
社債	6.5
その他有価証券	-
合計	100.0

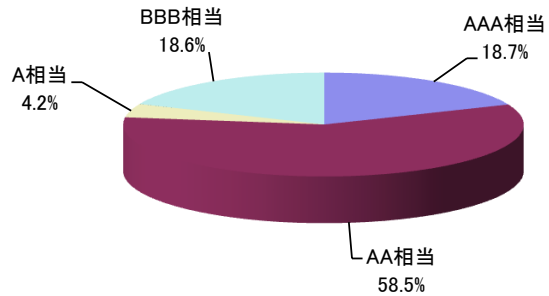
※1 比率は外国債券現物対比です。  
 ※2 特殊債にはGNMA、FHLMC、FNMAが含まれ、その他有価証券には外国貸付債権信託受益証券が含まれます。



### ●格付別組入比率

格付	ファンド(%)
AAA相当	18.7
AA相当	58.5
A相当	4.2
BBB相当	18.6
BB相当以下	-
合計	100.0

※1 比率は外国債券現物対比です。  
 ※2 格付けは、原則としてS&P社、Moody's社のうち低位のものを採用しています。



### ●組入上位15銘柄

順位	銘柄名	国名	通貨	クーポン (%)	償還日	組入比率 (%)	分類
1	T-NOTE 2.125 210815	アメリカ	USDドル	2.125	2021/8/15	5.6	国債
2	T-NOTE 1.375 200430	アメリカ	USDドル	1.375	2020/4/30	4.5	国債
3	NZDGOV 6.0 210515	ニュージーランド	ニュージーランドドル	6.000	2021/5/15	3.3	国債
4	T-NOTE 1.5 180831	アメリカ	USDドル	1.500	2018/8/31	3.1	国債
5	T-NOTE 2.625 201115	アメリカ	USDドル	2.625	2020/11/15	2.7	国債
6	CAN GOV 0.75 210901	カナダ	カナダドル	0.750	2021/9/1	2.6	国債
7	BTPS 2.5 190501	イタリア	ユーロ	2.500	2019/5/1	2.2	国債
8	OBL 0 200417	ドイツ	ユーロ	0.000	2020/4/17	2.0	国債
9	T-NOTE 2.125 220630	アメリカ	USDドル	2.125	2022/6/30	1.9	国債
10	T-BOND 4.5 360215	アメリカ	USDドル	4.500	2036/2/15	1.8	国債
11	T-NOTE 1.625 190331	アメリカ	USDドル	1.625	2019/3/31	1.8	国債
12	T-NOTE 3.125 210515	アメリカ	USDドル	3.125	2021/5/15	1.8	国債
13	OAT 2.25 240525	フランス	ユーロ	2.250	2024/5/25	1.7	国債
14	T-BOND 2.5 460515	アメリカ	USDドル	2.500	2046/5/15	1.5	国債
15	T-BOND 3.625 440215	アメリカ	USDドル	3.625	2044/2/15	1.4	国債

※ 比率は外国債券現物対比です。

組入銘柄数: 164銘柄

## JA海外債券ファンド

追加型投信／海外／債券

## ＜運用担当者のコメント＞

## ●1月の市場動向と運用状況

## (市場動向)

当月、世界の国債利回りはインフレ率の高まりに対する懸念や政治的な不透明感などから概ね上昇しました。米国債券は、トランプ新大統領が主導する税制改革など経済成長を後押しする政策に対して期待が高まっていたものの、保護主義的な姿勢によって不透明感が台頭したことから米国長期金利は月間では概ね横ばいとなりました。独債債券は、ドイツの消費者物価指数が予想を上回る伸びとなったことや欧州各国で国債の発行が活発に行われたことから独債長期金利は上昇しました。英国債券は、英国経済指標が堅調な結果となったことから英国長期金利は上昇しました。トランプ新大統領のドル高牽制発言を受けて多くの通貨が対米ドルで上昇しました。特に、オーストラリアドルやニュージーランドドルなど高金利通貨が上昇しました。

■米国では、当月に発表された経済指標は概ね堅調でした。ISM景況指数は製造業、非製造業ともに堅調で、労働関連の指標はまちまちの結果となりました。非農業部門雇用者数は156,000人増となり、失業率は4.7%と悪化しました。小売売上高は増加、住宅関連の指数はまちまちで、住宅着工件数は増加したものの、NAHB住宅市場指数は低下し、住宅販売件数は新築、中古ともに減少しました。2016年第4四半期のGDPは1.9%と予想を下回りました。インフレ率は上昇の兆しを見せており、消費者物価指数は2%を超えました。

■欧州では、政治的な不透明感があったものの、堅調な経済指標に支えられて消費者信頼感が上昇しました。ユーロ圏のインフレ率は上昇の兆しを見せており、消費者物価指数は1%を超えました。ドイツの労働市場は堅調で、失業保険申請率は低下し、失業者数も低水準で推移しています。一方で、ドイツのIFO企業景況感指数は低下し、景気の先行きには、やや不透明感が漂っています。英国では、労働市場が堅調な結果となりましたが、小売売上高は減少しました。

■中国のPMIは、製造業、非製造業ともに低下したものの、2016年第4四半期のGDPは予想を上回りました。中国の貿易収支は、人民元高による輸出の減少により黒字幅が縮小しました。

■当月、主要国の中央銀行による政策金利の変更はありませんでした。

## ●基準価額の変動要因分析

	(単位:円)	(単位:%)
	基準価額	月次騰落率
2017年1月31日	13,632	-
2016年12月30日	13,985	-
増減	-353	-2.52
債券要因	-142	-1.01
キャピタル	-169	-1.21
うち現物	(-169)	(-1.21)
うち先物	(-)	(-)
インカム	27	0.19
為替要因	-196	-1.40
小計	-337	-2.41
その他要因	-16	-0.11
要因合計	-353	-2.52

※ 上記の要因分析は、主要項目別に寄与度を概算した参考値です。  
※ 月中に分配があった場合の基準日の基準価額は、分配金込みです。

## (ファンドレビュー)

1月のファンドのパフォーマンスは前月比-2.52%、ベンチマークのパフォーマンスは前月比-2.22%、ファンドのベンチマークに対する相対パフォーマンスは-0.30%となりました。当ファンドが組入れているマザーファンドの1月のパフォーマンス(ドルベース)をベンチマークと基準を揃えて比較すると、ファンドのパフォーマンスは以下の要因から、ベンチマークを下回りました。

■(+)デレレーション戦略はプラスに寄与しました。インフレ期待が世界的に上昇するとの見方に基づき、英国およびドイツのデレレーションをアンダーウェイトとしたことは、消費者物価指数が予想を上回る伸び率となったことから当該国の国債が売られたことを背景にプラスに寄与しました。

■(0)国別配分戦略の寄与はほぼ中立となりました。

■(0)イールドカーブ戦略の寄与は中立となりました。

■(-)通貨戦略はマイナスに寄与しました。米連邦準備制度理事会(FRB)と日銀や欧州中央銀行(ECB)の金融政策の方向性の違いから金利差が拡大するとの見方や、英国の欧州連合(EU)離脱交渉は不透明感を再び高めるとの見方に基づき、ユーロや英ポンドなど複数通貨に対して米ドルをオーバーウェイトとしたことは、トランプ新大統領のドル高牽制発言を受けて、米ドルが下落したためマイナスに寄与しました。

■(0)信用戦略の寄与は中立となりました。

運用担当者のコメントは、受益者向けに投資信託の運用状況を開示するため、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、ウエリントン社)から提供された情報を元に、農林中金全共連アセットマネジメントが作成したものです。ウエリントン社からの情報は、海外市場の月末を基準として提供されており、ファンドの評価基準日とは一日異なります。また、上記コメントは、将来の市場環境の変動、正確性等を保証するものではありません。



## JA海外債券ファンド

追加型投信／海外／債券

## ＜運用担当者のコメント＞

## ●今後の市場見通しと運用方針

■世界的な低インフレという問題は徐々に解決に向かっていけると考えられます。各国中央銀行は、世界的な景気循環の好転に伴い金融政策の正常化に取り組んでいくことが想定されます。FRBは、米国の経済指標が引き続き堅調に推移する場合、利上げのペースを早める可能性があります。イングランド銀行(BOE)は、足許では金利を据え置いています。インフレ率が上昇する兆しが見られるなか量的金融緩和を終了する可能性は十分にあると見ています。ECBは、2017年を通して低位に推移すると予想されるコア・インフレ率に焦点を当て、当面は金融政策を維持すると思われます。一方、欧州諸国で予定されている政治イベントについては不透明感が漂っています。また、トランプ新大統領の政策不透明感や通貨競争に関する発言は、世界経済に負の影響を及ぼす可能性があり、FRBの利上げペースを鈍化させる可能性も否定できません。こうした状況のなか、ポルトフォリオ全体のリスクを注視しつつ、米国のデレレーションを中立、欧州、英国のデレレーションをアンダーウェイト、オーストラリア、ニュージーランドのデレレーションをオーバーウェイトとすることを検討します。通貨別では、米ドル、スウェーデン・クローネをオーバーウェイト、ユーロ、ニュージーランド・ドルをアンダーウェイトとすることを検討します。

## ■債券:

【北米】GDPは2.5-3.0%のレンジで推移すると見ています。米国経済は完全雇用に近い水準に近づいており、賃金の動向には注視していく必要はあるものの足許は上昇傾向にあり、FRBはさらに早いペースでの利上げを実施する可能性があります。しかしながら、FRBは、利上げに対しては慎重姿勢を示す可能性が高いと見ています。というのも、トランプ新大統領は大統領令を通じて保護主義的な外交政策(貿易・移民政策)に着手しており、米国経済が政策の恩恵を享受するには時間がかかるものと考えられるためです。トランプ新大統領の政策不透明感や通貨競争に関する発言は世界経済に負の影響を及ぼす可能性があり、FRBの利上げペースを鈍化させる可能性も否定できません。こうした環境の中、米国のデレレーションを中立とすることを検討します。

【中国】中国の景気回復は、日本など中国以外のアジア工業国にも広がりつつあります。堅調な経済指標を背景に中国人民銀行が金融引き締めを実施する可能性が高まっています。国内資産を海外資産へ振り替えようとする動きは続いており、資本流出と人民元の過度な変動が引き続き大きな下方リスクになると考えています。トランプ政権の保護主義的な政策も中国のように貿易依存度が高い国にとって逆風になると見ています。

【オーストラリア】インフレ指標が低水準で推移するなか、FRBに比べオーストラリア準備銀行(RBA)の緩和的な金融政策が長期化すると見られることから、オーストラリアのデレレーションをオーバーウェイトとすることを検討します。

【ニュージーランド】ニュージーランド国内のインフレ率が低位で推移するなか、ニュージーランド準備銀行(RBNZ)の緩和的な金融政策が長期化すると見られることから、ニュージーランドのデレレーションをオーバーウェイトとすることを検討します。

【ユーロ圏】ECBは、低位に推移すると予想されるコア・インフレ率に焦点を当て、当面は金融政策を維持すると思われます。欧州諸国で予定されている政治イベントについては不透明感が漂っています。選挙が近づき市場が政治リスクを織り込むにつれ、欧州近隣国のスプレッドは拡大すると予想しています。スウェーデンやポーランド等の欧州周辺の小規模な経済国家では、旺盛な国内需要を引き締めるため利上げが実施される可能性があります。政治情勢は引き続き懸念材料ではありますが、中道右派の候補が政権を獲得し、欧州は安定的な成長を遂げるという見通しです。このような環境下、ユーロ圏のデレレーションをアンダーウェイトとすることを検討します。

【英国】EU離脱の是非を問う国民投票以降、GDPは底堅さを示していますが、インフレ率が高止まりすれば個人消費は減少すると予想しています。インフレ率の上昇とそれに伴い圧迫される家計収入のバランスを図りながらBOEは量的金融緩和を停止し、中立的な金融政策を維持することが予想されます。また、英国のEU離脱のプロセスを始動させるEU基本条約(リスボン条約)第50条が3月に発動されると予想しています。このような環境下、英国のデレレーションをアンダーウェイトとすることを検討します。

## ■通貨:

【米ドル】トランプ政権の高官発言によりドル安傾向となっていますが、FRBの利上げ見通しがドルを下支えすると考えています。そのため、米ドルを適度にオーバーウェイトとする方針です。

【ユーロ】ECBは2017年12月までの量的金融緩和の延長を既に発表しており、米国との金利差が拡大すると見ています。そのため、ユーロをアンダーウェイトとする方針です。

【英ポンド】3月にEU基本条約(リスボン条約)第50条が発動され、その後も難しい交渉が続くと想定される中、資本調達が一層難しくなることが予想されます。そのため、英ポンドをアンダーウェイトとする方針です。

【スウェーデン・クローネ】インフレ及び賃金に安定化の兆しが見られるため、スウェーデンの中央銀行がECBに連動した金融緩和政策を講じる可能性は低いと見られることから、スウェーデン・クローネをオーバーウェイトとする方針です。

【豪ドル】インフレ指標が低水準で推移するなか、FRBに比べ、RBAの緩和的な金融政策が長期化すると見られることから、豪ドルは米ドルに対して相対的に弱い状態が続くものと見込みます。こうしたなか、豪ドルをアンダーウェイトとする方針です。

【ニュージーランド・ドル】ニュージーランド国内のインフレ率が低位で推移するなか、RBNZが緩和的な姿勢を継続するとの見方から、ニュージーランド・ドルをアンダーウェイトとする方針です。

## ■信用セクター:

世界経済の緩やかな回復、国債イールドカーブ(利回り曲線)の傾斜化、あるいは米国の減税などの経済政策が信用ファンダメンタルズを支えるものと見ています。2017年は拡張的な財政政策や規制緩和が経済に関する持続的なテーマとなり、これが社債市場に有利に働くと考えています。特に金融セクターは、資本規制緩和により短期的に収益性を引き上げることができると見て、引き続き着目しています。また、財務内容の修復に取り組んでおり、原油高から恩恵を受けている銘柄を中心にエネルギーセクターへの配分も維持します。ECBによる金融緩和政策や欧州経済の持ち直しといった支援があり、欧州企業の社債市場が改善してきていることを受けて、欧州企業の発行する社債も徐々に増やしていますが、政治イベントが引き続き不透明要因となっています。このような環境の中、米国投資適格社債を选好し、特にエネルギーセクターを中心とする方針です。

運用担当者のコメントは、受益者向けに投資信託の運用状況を開示するため、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、ウエリントン社)から提供された情報に元を、農林中金全共連アセットマネジメントが作成したものです。ウエリントン社からの情報は、海外市場の月末を基準として提供されており、ファンドの評価基準日は一日異なります。また、上記コメントは、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

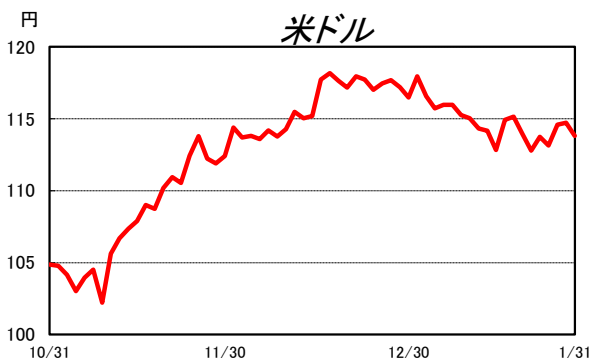


# JA海外債券ファンド

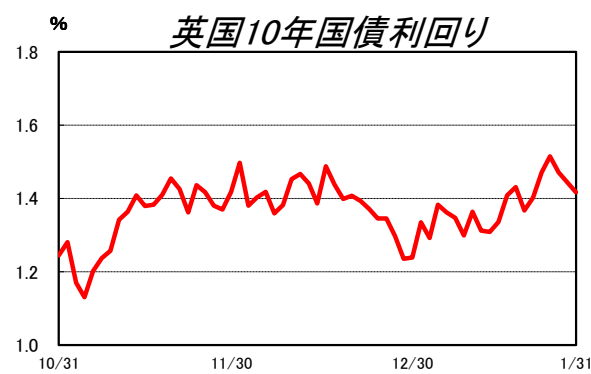
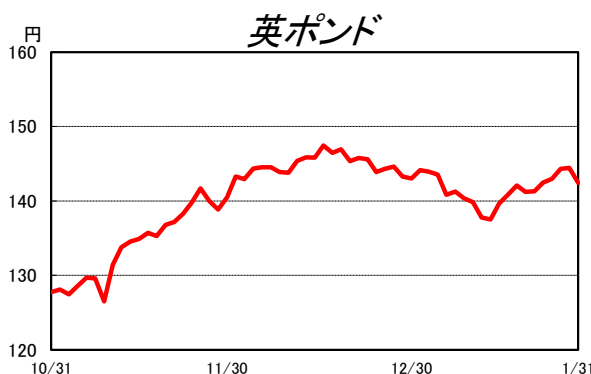
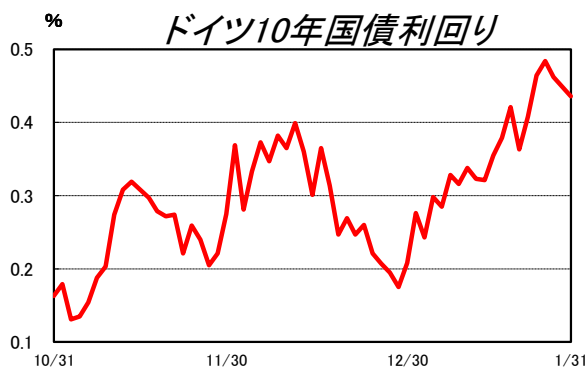
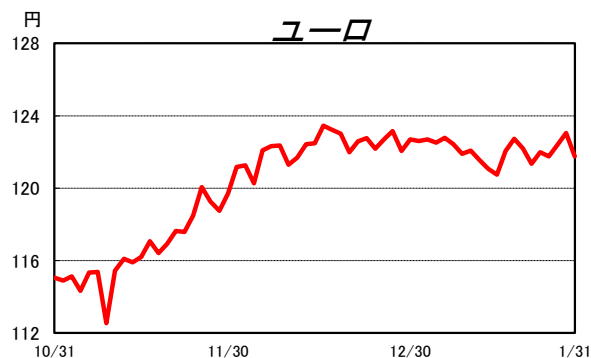
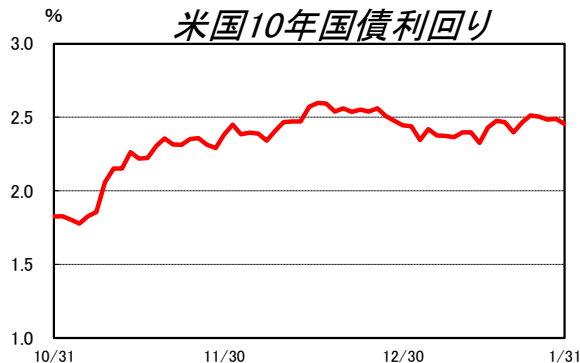
追加型投信／海外／債券

## <参考>市場動向(マーケット指標の推移)

### ○為替相場



### ○債券市場



当ファンドは、公社債などの値動きを生じる証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は日々変動します。従って元金が保証されるものではありません。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくことになります。当資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。投資信託は貯金(預金)保険制度の対象ではありません。当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。



## JA海外債券ファンド

追加型投信／海外／債券

## ○お申込みメモ

- 購入 いつでもご購入いただけます。  
ただし、ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行の休業日にはご購入の申込みの受け付けを行いません。
- 購入単位 販売会社が定める単位
- 購入価額 購入申込日の翌営業日の基準価額
- 購入時手数料 購入申込日の翌営業日の基準価額に1.62%（税抜1.50%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
  
- 信託設定日 2000年12月22日
- 信託期間 無期限
- 信託報酬 純資産総額に対して年1.296%（税抜1.20%）
- 決算日 毎年10月16日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配 原則として実質的な利子・配当収益に相当する収益を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。  
分配金再投資（累積投資）専用ファンドですので、収益分配金は税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。
  
- 換金 いつでも解約請求によってご換金いただけます。  
ただし、ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行の休業日にはご換金の申込みの受け付けを行いません。
- 換金単位 1口単位
- 換金価額 換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 信託財産留保額 換金申込日の翌営業日の基準価額に0.20%を乗じた額
- 換金代金の支払い 換金代金は原則として換金申込日から起算して5営業日目から支払いを行います。
  
- 税金
  - <個人のお客様の場合>
    - ・ 収益分配時の普通分配金については、配当所得として取り扱われ、課税されます。
    - ・ 換金時ならびに償還により交付を受ける金銭等は、譲渡所得とみなし、譲渡益に対し課税されます。
  - <法人のお客様の場合>
    - ・ 収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額に対し課税されます。

※ 税制が改正された場合等には、上記の内容が変更となることがあります。詳しくは、販売会社、税務署などへお問い合わせください。

ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行の休業日には、購入、換金のお申込みの受け付けを行いません。金融商品取引所や外国金融商品市場における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、購入、換金のお申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた購入、換金のお申込みを取り消す場合があります。

## ○委託会社、その他の関係法人

- ◆ 委託会社：農林中金全共連アセットマネジメント株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号  
一般社団法人 投資信託協会会員／一般社団法人 日本投資顧問業協会会員）  
信託財産の運用指図、目論見書および運用報告書の作成等を行います。  
：ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー（投資顧問会社）  
当ファンドの直接の関係法人ではありませんが、委託会社よりJA海外債券マザーファンドにおける外貨建資産の運用および為替取引の指図に関する権限の委託を受けて投資判断・発注等を行います。
- ◆ 受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）  
追加信託に係る振替機関への通知等、信託財産の保管・管理・計算等を行います。
- ◆ 販売会社：以下をご覧ください。  
ファンドの募集の取扱い・販売、目論見書・運用報告書の交付、一部解約の請求の受付、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等を行います。

販売会社等につきましては、以下の先までお問い合わせください。  
 ◆ 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社  
 ホームページ：<http://www.ja-asset.co.jp>  
 フリーダイヤル：0120-439-244（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

お申込、投資信託説明書（交付目論見書）のご提供は



## JA海外債券ファンド

追加型投信／海外／債券

## ○主なリスクと手数料

下記の事項は、この投資信託(以下「当ファンド」という。)をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みください。

## ＜当ファンドに係るリスクについて＞

当ファンドは、主に日本を除く世界各国の公社債を実質的な投資対象としますので、海外金利の上昇による組入公社債の価格の下落や、組入公社債の発行会社等の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「金利変動リスク」「為替変動リスク」「信用リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

## ＜当ファンドに係る手数料等について＞

◆申込手数料(1口当たり)・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の翌営業日の基準価額に1.62%(税抜1.50%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金(解約)手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年1.296%(税抜年1.20%)の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額(1口当たり)・・・換金時にご負担いただくものです。

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.20%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.00324%(税抜年0.003%)の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用(\*)

有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引、オプション取引等に要する費用、外国における資産の保管時に要する費用、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税、受託者の立て替えた立替金の利息、資金借り入れを行った場合の借入金利

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「費用と税金」をご覧ください。

(\*)「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## ○留意事項

■ 当資料は、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(以下、「当社」といいます。)が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

■ 当資料は当社が信頼できると判断したデータ等により作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。市場環境等の見直しにつきましても、その確実性を保証するものではありません。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。

■ 当ファンドは、公社債などの値動きの生じる証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は日々変動します。したがって、元金および収益分配が保証されるものではなく、投資元本を割り込むことがあります。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくこととなります。

■ 投資信託は預貯金や保険商品とは異なり、預金(貯金)保険機構、保険契約者保護機構の保護対象ではありません。投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

■ ご購入の際は、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受取りいただき、詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断いただきますようお願いいたします。

■ シティ世界国債インデックス(除く日本・当社円換算ベース)は、Citigroup Index LLCが開発した、シティ世界国債インデックス(米ドルベース)をもとに、シティグループ証券株式会社の許諾を得て、当社が独自に円換算したものです。